



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社スプリックス 上場取引所 東
コード番号 7030 URL <https://sprix.inc/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）常石 博之
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理部長 （氏名）平井 利英 TEL 03(6416)5476
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	27,268	9.4	1,468	92.8	1,606	105.3	899	115.6
2025年9月期第3四半期	24,915	9.4	761	394.6	782	309.0	417	—

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 906百万円（121.0％） 2025年9月期第3四半期 410百万円（1,510.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	51.00	50.91
2025年9月期第3四半期	23.71	23.67

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	21,732	10,203	46.8
2025年9月期	22,485	9,981	44.2

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 10,166百万円 2025年9月期 9,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2026年9月期	—	19.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	38,000	8.2	2,400	10.6	2,500	12.7	1,400	28.8	77.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 3社 (社名) SPRIX EdTech L.L.C、SPRIX USA Inc.、SPRIX VIETNAM COMPANY LIMITED

除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年9月期3Q	17,978,250株	2025年9月期	17,978,250株
2026年9月期3Q	328,085株	2025年9月期	335,585株
2026年9月期3Q	17,647,512株	2025年9月期3Q	17,604,886株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いている一方で、中東情勢の影響には引き続き留意が必要な状況となっております。

今後につきましても、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復が期待されるものの、中東情勢の動向や金融資本市場の変動などが経済に与える影響を注視していく必要があります。

当社グループが属する教育サービス業界におきましては、少子化が進行する中、教育制度改革が進められております。また、あらゆる産業でデジタル化の進展やサービスの在り方の見直しが進む中、IT技術を活用した新たな教育・指導形態へのニーズが一層高まっております。さらに、私立高校の実質無償化や指定校推薦、総合型選抜の拡大など受験環境の多様化が進んでおり、業界全体として柔軟かつ適切な対応が求められております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,268百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は1,468百万円（前年同期比92.8%増）、経常利益は1,606百万円（前年同期比105.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は899百万円（前年同期比115.6%増）、EBITDA（＝営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費等）は2,225百万円（前年同期比50.2%増）となりました。

セグメント情報は次の通りです。

「森塾」

中核事業である個別指導形式の学習塾「森塾」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において260校舎（前年同期比19校舎増）展開しております。生徒数が堅調に推移した結果、当第3四半期連結会計期間末における「森塾」在籍生徒数は55,793人（前年同期比4,129人増）となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注1）	13,450百万円	15,078百万円	12.1%増
セグメント利益（注1、2）	3,229百万円	3,938百万円	22.0%増
EBITDA（注3）	3,352百万円	4,150百万円	23.8%増
校舎数	241校舎	260校舎	19校舎増
生徒数	51,664人	55,793人	4,129人増

注1）売上高は外部顧客への売上高、及びセグメント利益は、セグメント間取引の相殺前の数値であります。

注2）セグメント利益は、無形固定資産の償却費を反映しております。

注3）EBITDAは、営業利益+支払利息+のれん償却額+減価償却費等であります。

「湘南ゼミナール」

集団指導形式の学習塾「湘南ゼミナール」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において203校舎（前年同期比5校舎増）を展開しております。小学生のコンテンツ拡充およびマーケティング強化により小中学生の生徒数が増加し、当第3四半期連結会計期間末における「湘南ゼミナール」在籍生徒数は18,870人（前年同期比438人増）となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	6,496百万円	6,722百万円	3.5%増
セグメント利益	378百万円	274百万円	27.5%減
EBITDA	568百万円	482百万円	15.2%減
校舎数	198校舎	203校舎	5校舎増
生徒数	18,432人	18,870人	438人増

「河合塾マナビス」

講義映像とチューターを用いた大学受験指導を行う学習塾である「河合塾マナビス」におきましては、当第3四半期連結会計期間末において株式会社湘南ゼミナールがフランチャイジーとして52校舎（前年同期比1校舎増）を展開しております。全学年の生徒数が堅調に推移した結果、当第3四半期連結会計期間末における「河合塾マナビス」在籍生徒数は4,878人（前年同期比155人増）となりました。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	2,075百万円	2,210百万円	6.5%増
セグメント損失（△）	△37百万円	△14百万円	－
EBITDA	121百万円	145百万円	19.4%増
校舎数	51校舎	52校舎	1校舎増
生徒数	4,723人	4,878人	155人増

「その他」

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費などを含む）」「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレスタシリーズの販売、「P i N K s（旧：東京ダンスヴィレッジ）」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）などを含んでおります。

「自立学習RED」は、教育ITを利用した学習塾であり、当第3四半期連結会計期間末において直営6教室（前年同期比増減なし）、FC205教室（前年同期比3教室減）を展開しております。

また、「その他」に含まれる教育関連サービスにおきましては、個別指導用教材「フォレスタシリーズ」、ICTを活用した映像教材「楽しく学べるシリーズ」、塾講師募集webサイト「塾講師JAPAN」などの既存事業がいずれも堅調だったことに加え、AIタブレットで基礎学力を養成する「SPRIX LEARNING」、「DOJO」や、サイバーエージェントグループと協業中の「キュレオプログラミング教室」、「プログラミング能力検定」などの新規事業も順調に拡大しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、21,732百万円（前連結会計年度末比752百万円減）となりました。主な要因は、流動資産その他が861百万円増加したものの、未収入金が1,546百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、11,529百万円（前連結会計年度末比974百万円減）となりました。主な要因は、未払金が632百万円増加したものの、前受金が1,328百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、10,203百万円（前連結会計年度末比222百万円増）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益899百万円の計上により増加したものの、配当金の支払いにより利益剰余金670百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年11月13日の「2025年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,460	6,206
売掛金	343	383
商品及び製品	357	415
仕掛品	22	11
貯蔵品	55	51
未収入金	3,045	1,499
その他	1,029	1,890
貸倒引当金	△37	△52
流動資産合計	11,276	10,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,593	3,870
土地	489	489
その他（純額）	166	161
有形固定資産合計	4,249	4,520
無形固定資産		
のれん	2,038	1,790
ソフトウェア	164	212
その他	811	650
無形固定資産合計	3,014	2,654
投資その他の資産		
投資有価証券	594	636
繰延税金資産	1,054	1,132
敷金及び保証金	2,092	2,174
その他	203	209
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,944	4,153
固定資産合計	11,208	11,327
資産合計	22,485	21,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153	133
未払金	1,682	2,314
短期借入金	730	1,194
1年内返済予定の長期借入金	363	94
未払法人税等	895	898
未払消費税等	532	351
前受金	5,299	3,970
賞与引当金	457	434
その他	1,034	729
流動負債合計	11,148	10,120
固定負債		
長期借入金	51	51
役員退職慰労引当金	76	77
退職給付に係る負債	139	148
資産除去債務	1,086	1,130
固定負債合計	1,355	1,409
負債合計	12,504	11,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,454	1,454
資本剰余金	1,444	1,445
利益剰余金	7,419	7,628
自己株式	△376	△367
株主資本合計	9,941	10,160
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	4	1
為替換算調整勘定	△5	4
その他の包括利益累計額合計	△0	6
新株予約権	40	37
純資産合計	9,981	10,203
負債純資産合計	22,485	21,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	24,915	27,268
売上原価	17,543	18,687
売上総利益	7,372	8,581
販売費及び一般管理費	6,610	7,112
営業利益	761	1,468
営業外収益		
受取利息	2	6
持分法による投資利益	17	42
業務受託料	0	1
助成金収入	1	77
受取補償金	—	16
その他	10	10
営業外収益合計	32	154
営業外費用		
支払利息	10	12
支払手数料	0	—
その他	1	4
営業外費用合計	12	16
経常利益	782	1,606
特別利益		
新株予約権戻入益	2	1
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	—	12
特別損失合計	—	12
税金等調整前四半期純利益	784	1,595
法人税、住民税及び事業税	522	771
法人税等調整額	△155	△76
法人税等合計	367	695
四半期純利益	417	899
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	417	899

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	417	899
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△1	10
為替換算調整勘定	△5	△3
その他の包括利益合計	△7	6
四半期包括利益	410	906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410	906
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	459百万円	479百万円
のれんの償却額	234百万円	248百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	13,450	6,496	2,075	22,022	2,893	24,915	—	24,915
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	13,450	6,496	2,075	22,022	2,893	24,915	—	24,915
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	14	14	△14	—
計	13,450	6,496	2,075	22,022	2,907	24,930	△14	24,915
セグメント利益 又は損失（△）	3,229	378	△37	3,571	△946	2,624	△1,863	761

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「P i N K s (旧：東京ダンスヴィレッジ)」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営)等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,863百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメント及びその他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 (注3)
	森塾	湘南 ゼミナール	河合塾 マナビス	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	15,078	6,722	2,210	24,011	3,256	27,268	—	27,268
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	15,078	6,722	2,210	24,011	3,256	27,268	—	27,268
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	24	24	△24	—
計	15,078	6,722	2,210	24,011	3,280	27,292	△24	27,268
セグメント利益 又は損失 (△)	3,938	274	△14	4,199	△542	3,656	△2,188	1,468

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「新規事業（研究開発費等を含む）」、「自立学習RED」、「そら塾」、教育関連サービス（フォレストシリーズの販売、「P i N K s (旧：東京ダンスヴィレッジ)」、「和陽日本語学院」、「プログラミング能力検定」の運営）等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△2,188百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメント及びその他に帰属しない販売費および一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。